



今年から町議会定例会の一般質問は、このコーナーで掲載いたします。

今回は、三月定例会と六月定例会を報告します。

三月定例会

三月十日の一般質問には、古川幸治、秋元洋子、伊藤永慈の三議員が登壇し、農業や産業廃棄物処理問題について、町長らに質問しました。

内容は次のとおりです。
古川議員「農業の転作について、一〇〇%達成できないのはなぜか。協力しない農家は何か。面積はいくらか。非協力農家への対応と協力農家への対応はどうなっている

のか。」「介護保険審査で要支援と判定された方が施設入所を希望した場合の対応と現在建設中の高齢者生活福祉センターの内容はどうなっているのか。掛け捨てとならないような介護保険の町独自の還元方法を考えてはどうか。」

鳴海町長「当町の転作組合長はすばらしい方々ばかりである程度は達しているので、今後も粘り強く目標達成の努力を傾注していく。非協力者の氏名は公表できないが、町の各種委員等にはつかせない。協力農家は反当二千円の商品券を交付するなどの助成措置を取りたい。」

健康福祉課長「介護予防生活支援対策事業などを想定して自立判定された方に対応していきたい。高齢者生活福祉センターは、高齢で独立して生活することに不安のある方が、一定期間居住できる施設。料金は、無料から最大月額三万円を見込んでいます。独自の還元は保険料にはね返り、県下でも実施する町村がないと報道されており、慎重に対応していきたい。」

秋元議員「産業廃棄物焼却炉設置について、町議会、町

農業委員会、津軽北部協同組合でそれぞれ反対決議をしているが、現在、町はどのような状況にあるのか。業者への反対の働きかけ、対策はどう考えているのか。産廃設置を町の条例で反対できないか。」

「三味線会館の運営内容等はどうなっているのか。太宰記念館と連動させた観光をどう考えているのか。」

町長「太宰を中心とした観光立町や野菜との複合経営で農業所得の向上を目指す上で悪影響があることから、産業廃棄物焼却炉設置を食い止めたいものだと思っていたが、県で建設を許可しているので、公に反対することに躊躇していた。県へ文書で設置阻止のお願いをするとともに、建設予定の親会社へも現地が農業振興地域に該当していることを伝え、農用地の変更に対しての法に乗った措置により対処する考えである。反対署名も五、六千人になると聞いており、この力を借りながら阻止に努力していきたい。」

「津軽三味線発祥の地であり、斜陽館とともに津軽三味線の由緒ある流れを公開すること観光客の増につながると考

え、三味線会館を建設した。駐車場もすっきり整備され、観光物産館も含めた観光立町に努力する。」

(資料により内容紹介)

伊藤議員「町の伝統であるスキージャンプ競技について、今年度中にジャンプ台を設置し、町内六校から冬季節子供らを集め町のジャンプを守り立ててほしい。」「長期総合計画は何時つくられ、どこまで進んでいるのか。新たな長期総合計画がなされるのか。長期総合計画の内容を広報等で周知してほしい。骨組みがしっかりした計画をつくって、たとえ町長が変わろうと一貫とした整備をしてほしい。」

町長「町のスキージャンプについては、断念せざるを得なかったが、使えるジャンプ台をつくらなければならぬ。現在、国土庁の補助事業でジャンプ台の整備をお願いしている。」「これまでの総合計画を参考として第三次総合計画が決められている。優先順位をつけながら、総合計画

に乗った整備を進める必要がある。町民に知らせる義務があり、広報等で周知させる努力をする。継続して計画に乗った建設に向けて努力したい。」

企画観光課長「長期総合計画の策定は平成十年十二月であり、十九年度までの期間で計画されている。平成十年には、約二十四億九千八百万円の事業費が計画案によって行われている。十年間の計画であり、進捗状況は現段階では報告できない。」

なお、同議会で次の事項が可決されている。

議案第三号 平成十一年度金木町一般会計補正予算(第八号)案

議案第四号 平成十一年度金木町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第四号)案

議案第五号 平成十一年度金木町老人保健特別会計補正予算(第三号)案

議案第六号 平成十一年度金木町農業集落排水事業特別会計補正予算(第二号)案

議案第七号 平成十二年度金木町一般会計予算案

議案第八号 平成十二年度

金木町国民健康保険特別会計
(事業勘定) 予算案

議案第九号 平成十二年度
金木町老人保健特別会計予算案

議案第十号 平成十二年度
金木町介護保険特別会計予算案

議案第十一号 平成十二年
度金木町農業集落排水事業特別会計予算案

議案第十二号 平成十二年
度金木町水道事業会計予算案

議案第十三号 金木町公告
式条例の一部を改正する条例案

議案第十四号 金木町議会の議員の定数を定める条例案

議案第十五号 地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例案

議案第十六号 地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う罰則の整備に関する条例案

議案第十七号 金木町行政手続条例の一部を改正する条例案

議案第十八号 金木町印鑑の登録及び証明に関する条例

の一部を改正する条例案

議案第十九号 金木町防災行政用無線局の設置及び管理に関する条例案

議案第二十号 金木町職員定数条例案

議案第二十一号 金木町報酬及び費用弁償等に関する条例案

議案第二十二号 金木町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案

議案第二十三号 金木町介護保険給付費準備基金条例案

議案第二十四号 金木町介護保険円滑導入基金条例案

議案第二十五号 金木町下水道事業減債基金条例案

議案第二十六号 津軽鉄道株式会社に対する固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例案

議案第二十七号 金木町手数料徴収条例案

議案第二十八号 金木町地域振興券交付事業特別会計条例を廃止する条例案

議案第二十九号 金木町教職員住宅使用料滞納金等徴収条例案

議案第三十号 金木町太宰治記念館「斜陽館」条例の一部を改正する条例案

議案第三十一号 金木町高齢者生活福祉センターの設置及び管理に関する条例案

議案第三十二号 金木町国民健康保険条例の一部を改正する条例案

議案第三十三号 金木町介護保険条例案

議案第三十四号 金木町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例案

部を改正する条例案

議案第三十五号 金木町津軽三味線会館の設置及び管理に関する条例案

議案第三十六号 津軽北部広域事務組合規約の一部を変更する規約案

議案第三十七号 平成十一年度金木町一般会計補正予算(第九号)案

議案第三十八号 金木町監査委員の選任の件

議案第三十九号 金木町教育委員会委員の任命の件

議案第四十号 金木町教育委員会委員の任命の件

議案第四十一号 人権擁護委員の推薦の件

議案第四十二号 人権擁護委員の推薦の件

報告第一号 平成十二年度金木町土地開発公社事業計画

の提出の件

議案第一号 金木町議会議規則の一部を改正する規則案

議案第二号 金木町議会委員会条例の一部を改正する条例案

議案第三号 金木川改修事業促進特別委員会設置条例の一部を改正する条例案

議案第四号 森林・林業・林産業の活性化に関する意見書案

また、同議会で金木町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙が行われ、委員に中西慎一、中谷新勝、浜田英男、西村晃一の四氏が、補充員に泉谷唯男、吉田意智男、秋村博、古川勉の四氏がそれぞれ選任されています。

六月定例会

六月七日の一般質問で、加藤馨、伊藤永慈の二議員が登壇し、役場職員の任用やジャンプ台整備について、町長らに質問しました。

内容は次のとおりです。

加藤議員「役場職員の任用が、公募、採用試験によらず、選考方法によって行われてい

るが、町長の所信を問う。」

「大東ヶ丘産廃焼却場予定地の入札参加を議会へ相談がなかったのはなぜか。応札時の保証金等、執行経緯を問う。」

「生産調整協力奨励金を交付する意図は何か。」

「地場産品をどういうふう育てていくのか。現在着手しているものは何か。」

「介護保険で要支援、要介護と認定された方でサービスを辞退し、自宅での在宅介護となっている場合、町ではどういう対応をするのか。」

「現在の町の教育について、教育長としてどのように認識されているのか。とりわけ、学校の統廃合、保育所の統廃合についての見解を問う。」

「今後、下水、排水溝の整備はどのように進めていくのか。」

「総合検診制度を更に充実させる考えはないのか。」

「三味線会館での事件はどういう状況で起きたのか。今後、暴力事件に対してどのような対応をしていくのか。」

町長「職員の採用は、選考で十名、公募により一名行っている。長期の臨時職員を一掃するため、やむなく選考により採用したが、今後は、公募して競争試験により行いた

い。「町で入札に参加することが事前に知られた場合、相手方の入札額が高くなり、町で落札することが困難になると考え、秘密にした。落札者からは、町の意志に背かないような協力をしていくとの返事をいただいている。今後も落札者と相談をし、産廃焼却施設が建設されないように最善の努力をする。」「減反への非協力者が増えないように、また、町の商店街の活性化の一助となればとの願いから協力者への奨励金交付を考えた。」「観光物産館内で町の商品を三〇パーセントほど販売しているが、地場産品はまだまだ不足している。外でふるさと市として、農産物の生鮮野菜等を販売したい。」「利用者の一割負担が重荷となつて、サービスを辞退する人がいることは聞いていますが、介護保険制度を優先させ、その下に福祉制度が準ずるようにとの国の指導がある。しかし、窓口相談等によりいろいろな指導をしていく。」「排水溝等の整備は計画リストにより進めているが、要望や現場の状況等により早められる箇所も有る。公共下水道整備について

も計画していく。」「今後ともこのような暴力事件が絶対起きないように協力していきたい。」

中谷教育長「少子・高齢化での児童生徒の減少とそれに伴う学校の合併としては、川倉小学校の金木小学校への吸収合併があり、その後は南中学校と金木中学校の合併、嘉瀬小学校、喜良市小学校の合併などが考えられる。教育方針は、激しく動く社会の中で、人間尊重の精神を基調に、課題や学習要求の把握に努めるとともに、社会教育行政の諸条件を整備し、生涯各時期に応じた学習の場と機会を提供すると考えている。」

健康福祉課長「集団検診の検査項目については、老人保健法の中にメニューが規定されており、脳の診断にかわるものとして眼底検査を行っている。」

伊藤議員「嘉瀬スキー場のジャンプ台新設について、補助事業の決定、実施時期、事業内容、経費明細、曲線部の施工業者の選定等はどうなっているのか。また、建設後の対応をどのように考えているのか。」

町長「国土庁の補助事業、雪国創造事業による建設が採択された。事前着工はできないので、今年は設計を行い、来年の建設とする。業者選定も今後の検討とする。」

教育次長「設計一千万円、ジャンプ台建設三千万円、クロスカントリー新設五百万円、リフト新設一千万円、夜間照明設備五百万円で要望しており、三カ年の継続事業で、本年は設計、調査、十三年度にジャンプ台、リフトの新設、十四年度にクロスカントリーコース、夜間照明設備の改修を予定している。今後は、学校主体でなく、スポーツ少年団、スキー少年団などの組織化も検討してジャンプ台の活用を図りたい。」

また、同議会で次の事項が可決されている。

議案第四十七号 平成十二年度金木町一般会計補正予算(第一号)案

議案第四十八号 平成十二年度金木町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第一号)案

議案第四十九号 平成十二年度金木町介護保険特別会計補正予算(第一号)案

議案第五十号 平成十二年度金木町農業集落排水事業特別会計補正予算(第一号)案

議案第五十一号 平成十二年度金木町水道事業会計補正予算(第一号)案

議案第五十二号 金木町過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例案

議案第五十三号 金木町介護保険条例の一部を改正する条例案

議案第五十四号 金木町農薬管理センター設置条例を廃止する条例案

議案第五十五号 青森県市町村等非常勤職員公務災害補償等組合規約の一部を変更する規約案

議案第五十六号 青森県市町村職員退職手当等組合規約の一部を変更する規約案

議案第五十七号 西北五広域福祉事務組合規約の一部を変更する規約案

議案第五十八号 寄附採納の件

議案第五十九号 町道の路線認定の件

報告第二号 専決した事項の報告及び承認を求めの件(金木町税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例)

報告第三号 専決した事項の報告及び承認を求めの件(金木町農村地域工業等導入指定地区における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例)

報告第四号 専決した事項の報告及び承認を求めの件(平成十一年度金木町一般会計補正予算(第十号))

報告第五号 専決した事項の報告及び承認を求めの件(平成十二年度金木町老人保健特別会計補正予算(第一号))

報告第六号 平成十一年度金木町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告の件

報告第七号 平成十一年度金木町農業集落排水事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告の件

議案第五号 道路特定財源制度の堅持に関する意見書(案)

議案第六号 義務教育費国庫負担制度の維持に関する意見書(案)

議案第七号 義務教育費国庫負担制度の維持に関する意見書(案)

※詳しくは、議会事務局の会議録をご覧ください。

続 大腸がんのお話

内科 小野 ふさ子

暑さもようやく一段落した今日のごろですが、皆さんバテずに夏を乗り切りましたでしょうか？

今回もまた、昨年に引き続いて大腸がんについてのお話です。

大腸がんが日本人にも増えつつあること、検査方法（検便、大腸カメラ、造影剤によるレントゲン検査）についてなど前回書きましたが、今回は当金木病院での実際の状態報告も兼ねながらお話を進めていきます。

【当院の大腸内視鏡検査】

昨年（平成十一年）一月から十二月まで一年間に金木病院で行われた大腸内視鏡（カメラ）は五百八十六件でした。同じ人が何回か検査を受けたり、内視鏡による治療（ポリープ切除）を受けていますので、おおよそ五百人の方が内視鏡による検査を受けたことになりまます。ドックでのバリウムによる検査を含めると五

たり、手術が必要で、などと言われたら、頭が真っ白になりますよね。

でもでも、あわてないでください。がんは不治の病と決めつけないでください。もちろん、うんと進行していたり、他の臓器（肝臓など）に転移していたりすると命取りになったり、手術をしても再発したりすることもありますが、手術して退院し、元気に生活していらつしやる人もたくさんいます。私はときどき「よかったですね、早く見つかった」と患者さんに言うこともあるくらいです。

やはり症状が全くなくて検査でひっかかって見つかった人の方が、進行していないことが多いので、定期検診の大事さを声を大にして言いたいです。がん年齢になつたら年一回の検便検査はおつくうがらずに受けましょう！！

（もちろん、検査が陰性だからといって病気が無いという完全な保証にはなりませんけれど。）

【大腸ポリープってなに？】

先程ポリープが見つかった人と内視鏡で切除治療を受けた人について書きましたが、

そもそもポリープってなんでしょう？

大腸（胃でも）の内面にあまり大きくなく盛り上がっているものを全部一応ポリープと呼びます。腸で強い炎症が起こったりしたあとがイボイボに盛り上がったたりすることもあります。私たちが問題にするポリープは、それらの中で腫瘍と呼ぶべきものです。

多くは良性の腺腫と呼ばれるものですが、大腸の場合、大きくなつてくると良性の腫瘍の一部にがん細胞が混じつてくる確率が高くなると言われています。（小さくても立派ながんのこともあります。）

ポリープの直径が5mmになるとそれ以下のものより明らかにがんが混じる確率が少し上がり、一〇mmを超えると、急に高くなる（三〜四割）と言われています。そのためポリープが見つかった人にはたとえその一部をつまんだ検査でがん細胞が出なくても、取ることを勧めたり、定期的な検査を勧めることになるわけです。

【ポリープの処置について】
小さいうちは内視鏡で切除できますが最低一日の入院は

必要です。おなかを開けませんが手術に変わりは無いので出血や穿孔（腸の壁に穴が開くこと）の危険があるからです。また内視鏡で取るのが無理と判断される場合は外科で開腹しての手術となります。

また、内視鏡でとつた後、顕微鏡で見ると、悪性の部分を取り残されていると分かった場合は追加の手術が必要になることもあります。いずれの方法も、大腸がんの早期発見治療、大腸がんへの進行防止がその大目的です。

【定期検診と早めの対処を】

大腸がんにして、他の病気にしろ、私たちが健康で快適な生活を送る障害になるので治療するわけですから、やたらに怖がることはありませんけれど、侮ることもできませんよね。

健康のもとやはり規則正しい生活、バランスのとれた食事ですが、それでも病気がだれにでも訪れる可能性があります。早く見つけて対処しましょう。定期検診はお忘れなく。また、身体に変調を感じたら早めにどうぞ相談ください。

太宰とその文学の魅力(9)

金木町太宰会々長

木下 巽

太宰治・吉幾三

今回は、「太宰治・吉幾三」ということで書いてみます。

太宰さんと吉さんは、世代や時代背景、作品世界のジャンルも異なりますので、簡単に比較できるものではありません。しかし郷土の自慢できる人物として、このお二人を挙げることに異存はないでしょう。

自慢できる人物」のアンケート集計記事です。

青森県の自慢できる人物は、

ちよつと古くなりますが、平成二年六月三日、読売新聞の地域ニュース欄に「風土が生んだ自慢の人物」が大きく掲載されています。これは、読売新聞社の県民意識調査で、東北六県を対象に「郷土の



自慢できる人物」のアンケート集計記事です。青森県の自慢できる人物は、①版画家 棟方 志功 四五 ②小説家 太宰 治 三五 ③歌手 吉 幾三 二三 ④国際外交 新渡戸 稲造 一五 ⑤政治家 田沢 吉郎 一四 ⑥政治家 竹内 俊吉 一二 ⑦小説家 三浦 哲郎 七 ⑧タレント 伊奈かつべい 六 元横綱 二子山勝治 六 ⑩歌手 淡谷のり子 五 政治家 佐藤 尚武 五 政治家 津川 武一 五 その他が二〇六、無しが四五七、無回答が六九。合計八一〇がサンプル数です。

青森県は多彩な顔ぶれが並んでいます。一位に異色の版画家棟方志功。続いて郷土出身の太宰治が二位になっています。このころから県民の評価が急上昇し、脚光を浴びていることに注目したいのです。三位に吉幾三が入っており、金木町出身が二、三位と続いているのです。嬉しい限

りです。

郷土の自慢、人気度のベストリストで太宰さんが大きく一歩リードし、吉さんがそれに続いているということ。太宰さんは日本を代表する世界的な小説家で、生誕九十一年目。吉さんは、作曲家、作家として、また俳優として活躍し、紅白歌合戦連続十四回出場歌手で四十七歳の現役。太宰さんはストーリーテラーと言われますが、吉さんはシンガー・ソングライターです。

『津軽』『津軽平野』

太宰作品の中で不朽の名作と言われるのが、昭和十九年の小説『津軽』です。【金木は、私の生まれの町である。津軽平野のほぼ中央に位し、人口五、六千の、これという特徴もないが、どこやら都会ふうになつたと気取つた町である。善く言えば、水のように淡泊であり、悪く言えば、底の浅い見栄坊の町。】(中略) 見よ、私の忘れ得ぬ人は、青森に於けるT君であり、五所川原に於ける中畑さんであり、金木に於

国民年金情報

老齢基礎年金の

繰り上げ請求は慎重に



国民年金の老齢基礎年金は六十五歳からの支給が原則ですが、希望すれば六十歳から六十四歳の人でも、繰り上げて受けることができます。ただし、繰り上げて年金を受けると、六十五歳から受ける場合と比べて、次のような不利な点があります。

- ①繰り上げ支給の申請をしたときの年齢によって、受ける年金が一定の割合で減額され、その率は六十五歳を過ぎても変わらないので、生涯減額された年金を受取ることとなります。
 - ②また、繰り上げ支給の請求書は、一旦受理されると後から取消しや変更はできません。
 - ③繰り上げて年金を受けていると、特別支給の老齢厚生年金や退職共済年金は、六十五歳になるまで支給が停止されます。
 - ④繰り上げて年金を受けた後、就職して厚生年金などに加入するとその間は支給が停止されます。
 - ⑤繰り上げて年金を受けた後、まうと、その後事故や病気で障害をもつた場合でも障害基礎年金を受取ることはできません。
 - ⑥繰り上げて年金を受けた後、夫の死亡により遺族基礎年金の権利が発生しても六十五歳になるまでの間は、繰り上げ支給の老齢基礎年金とどちらか一方の年金しか受けられません。
- 繰り上げ請求したことを後悔することのないように、事前によく考えてから請求を下さい。



写真提供 (有)吉プロモーション

けるアヤであり、そうして小泊に於けるだけである。私は、これらの人と友である。」と描いています。

一方、吉さんの名を決定的にしたのが、昭和五十九年作詞・作曲した「津軽平野」です。

①津軽平野に 雪降る頃はヨ

親父一人で 出かせぎ支度

春にやかならず 親父は帰る

みやげいっぱい ぶらさげてヨ

淋しくなるけど なれたよ親父

②十三みなどは 西風強くて

夢もしばれる ふぶきの夜更け

降るな降るなよ 津軽の雪よ

春が今年も 遅くなるよ

ストープ列車よ あいたや親父

③山の雪解け 花咲く頃はヨ

かあちゃんやけにヨ そわそわ

するネ

いつもじよんがら 大きな声で

親父唄って 汽車からおりる

お岩木山ヨ 見えたか親父

お岩木山ヨ 見えたか親父

吉さんの著書による

と、この「津軽平野」

は、夜行で上野に戻る

青森駅で、出稼ぎ一団

と涙で見送る家族を眺

め、へまだ、こうして

出稼ぎで苦労している

人がいるんだナ」と、

A寝台の上で腹ばいに

なつて涙ポロポロこぼしながら書

いたというのです。千昌夫さんに

せがまれたとき「この歌は、オレ

と青森のオヤジをつなぐかけ橋の

ような歌だから、オレの歌でもレ

コードにしたくない。それほど大

事にしまつておきたい曲なんだ

…」と断つたそうです。しかし、

兄貴ぶんの千さんに説得され提供

したということ。作品提供第

一号で、作家としても出発したこ

とになります。どちらにも、ふる

さと、津軽に寄せる思いが深く

通いあつています。

優しさ

吉さんの「津軽平野」及び「津

軽演歌」「津軽情話」「東日流」

「津軽路」「酔歌」は津軽にまつわ

る歌であり、父母、妻へのメッセ

ージだそうです。その歌の中に、

酒があり、ふるさとがあり、そし

て涙を流しながら歌う吉さんがい

ます。

「酒よ」に、へ涙には幾つもの

想い出がある／心にも幾つかの傷

もある」と。『オイ』の歌詞に、

「お前／優しい／泪／忘れない

ぜ」。『ありがたうの唄』の中に、

「笑うより泣く数が／多けりや多

いほど／優しさをあげられる／男

で居たいから」と描いています。

この「泣く数が多いほど他人に優

しくできる」という「優しい眼差

し」に魅せられ、その歌に感動す

るのです。

太宰さんは、「優しいという字

は、人偏に憂う」と書いています。

人を憂える、人の淋しさ侘しさ、

つらさに敏感な事、これが優しさ

であり、いま人間として一番優れ

ている事じゃないか」と書いて

います。この優しさが、太宰文学

の魅力のひとつでもあります。太

宰作品「魚服記」「薄明」「燈籠

」「貨幣」「眉山」「ヴィヨンの妻」

「斜陽」「人間失格」には、貧しい

ながらも心優しい人間。悲しく、

苦悩しながらも心美しい人間が描

かれています。この弱者に対する

作者の優しさといわわりに読者は

感動するのです。

人を憂える、人の淋しさ侘しさ、

つらさに人一倍敏感なお二人の

「人間らしい優しさ」が、作品の

底流をなす共通性だと思ってい

ます。

♥かなぎ公民館

ブライダル情報♥

このたび、めでたく「かなぎ公民館ブライダル」(企画・進行)事務局「金木町中央公民館」によりカップルとなられた方々をご紹介します。

HAPPY Wedding



2000. 8. 26

新郎 石戸谷 恒 鋭さん(金 木)
新婦 成田 紀 子さん(青森市)

★結婚をご予定されている方は、お気軽に金木町中央公民館(☎五三―二五八―)にご相談ください。

すべて事務局が手配いたします。

また、お二人のお名前と結婚記念日を刺しゅうした豪華桐箱入アルバムの特典品等々たくさんの特典があります。

伝言板

◎届いています

●八月二十日 財布(布製・ピンク色)

●八月二十日 金木シヨップینگ

●八月二十日 センターノア内

●八月二十日 きんちやく袋(赤色)

●八月二十日 金木シヨップینگ

●八月二十日 センターノア内

●八月二十日 金木シヨップینگ

●八月二十日 センターノア内

●八月二十一日

●小銭入れ(革製・黄色)

●南台寺付近路上

●心当たりの方は、金木警察署落し物係まで。

●係から

●このコーナーを利用した

●一方は役場企画観光課まで。

●このコーナーを利用した

●一方は役場企画観光課まで。

戸籍の窓

六月届出分

おめでとう

津島 稜(秀樹) 金木

八月届出分

おめでとう

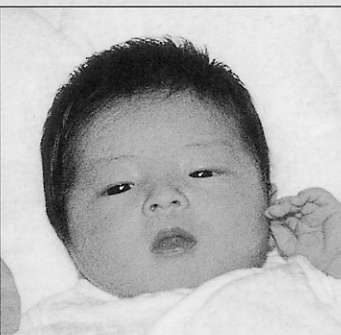
澤田 志帆(孝誠) 嘉瀬
 今川 郁人(正秀) 喜良市
 松川 七海(冬樹) 嘉瀬
 中谷 凛人(貴美) 川倉
 白川 碧大(晃広) 金木

はじめまして



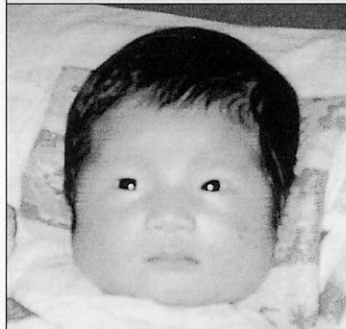
いくと 郁人

元気に大きく育て!!
 気合いだ!! (母 寿美子より)



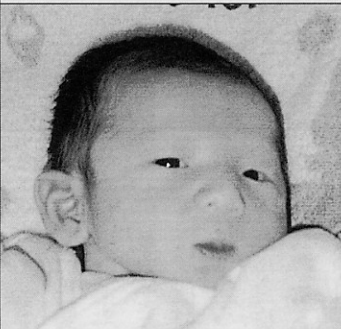
ななみ 七海

ウチの可愛い妹です!
 (姉 芽生より)



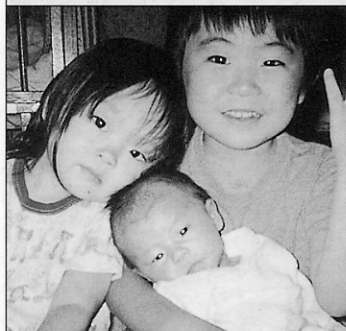
しほ 志帆

明るく、元気に育ってね
 (母 優子より)



いつき 齋

丈夫で明るい子に育ってください、お姉ちゃん
 と仲良くしてね (母 麻美より)



こうし 功志

大きくなったら、三人で仲良く遊ぼうね
 (兄姉より)



りゅうへい 龍平

たくましく、健康に育つように
 (両親より)

おしあわせに

山下純一郎(順功) 車力村
 澁谷奈津恵(良通) 金木
 洪谷教逸(昭藏) 五所川原市
 秋元 希公(良一) 金木
 濱田 浩平(和人) 嘉瀬
 村上 広恵(信吾) 黒石市

山本 歩(功志) 武志
 浅田 志齋(嗣巳) 金木
 桑田 齋哉(恭泰) 金木
 辻 友哉(護二) 金木
 舛甚 竜唯(正彦) 嘉瀬
 齋藤 龍平(光正) 金木
 工藤 瑞花(優) 金木

おくやみ

秋元 仁(幸徳) 嘉瀬
 石岡 香織(繁道) 柏村
 一戸 トヨ(85才) 金木
 佐藤 良治(67才) 金木
 今藤 安美(85才) 嘉瀬
 加藤 丈則(84才) 金木
 千田 作五郎(72才) 川倉
 櫻井 タミ(90才) 喜良市
 桑田 政一(67才) 喜良市
 木下 千代春(72才) 金木
 田中 七雄(89才) 金木
 津島 幸雄(67才) 金木
 田中 ヤサ(64才) 金木

人口と世帯

	8月末現在	前年同月比
男	5,739人	△ 78人
女	6,316人	△ 50人
計	12,055人	△ 128人
世帯数	4,059	107

この欄は金木町に住所を有している方々を掲載しています。掲載を希望しない方は町民課窓口へ届出の際申し出て下さい。

本年10月1日現在で、全国いっせいに国勢調査を実施します。

国勢調査は、9月下旬から10月上旬にかけて、「国勢調査員証」を携帯した国勢調査員が世帯を訪問し、直接、調査票を配布・収集する方法により行います。

国勢調査と称して世帯の家族構成や会社の従業員の氏名などを電話で照会する「かたり調査」にご注意下さい。

不審な電話には即答せず、相手の名前や電話番号などを聞き、お住まいの市区町村の国勢調査担当までご連絡下さい。



総務庁統計局・青森県・金木町

